

2023年度放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名 どうえん大手町児童デイサービス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びをする部屋と、工作や玩具遊びなどの落ち着いた遊びをする部屋を分けている。</li> <li>・必要に応じて部屋を分けて活動をおこなっている。</li> </ul>	
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員6名の子どもに対して、常勤職員として、保育士、児童指導員、心理士、児童発達支援管理責任者など5名を配置している。また、兼務職員が10名おり、常勤職員の出勤に応じてサポートに入っている。</li> </ul>	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所へは怪我防止対策をしている。併せて職員が言葉がけをしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の構造上完全なるバリアフリーには限界があるが、引き続き各子どもに合った「構造化・情報伝達」に努める。</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・より業務の手順を統一していくためにミーティングで話し合っ決めていくようにしている。</li> </ul>	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所評価を実施し保護者の意向把握に努め業務改善に取り組んでいる。</li> </ul>	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人ホームページに掲載している。</li> </ul>	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価の受審はしていないが、法人本部による内部監査を受け、業務改善につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者からの評価を受けた際には、職員間ですみやかに共有し、業務改善に関するミーティングを開催する。</li> </ul>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・より個別で具体的な事例に適した内部研修を実施し、職員の資質向上に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修受講後、どのように他職員と情報共有をおこなうのか検討する。</li> </ul>

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
適切な支援の提供	9	5			・個別支援計画モニタリング面談前に「子どもの強さと困難さアンケート」をおこない、保護者ニーズや課題を職員間で分析し、支援計画や日々の活動に反映させている。	
	10	5				
	11	5			・子どもの特性や発達段階、個別支援計画に合わせて、職員間で連携を取りながらプログラムを作成している。	
	12	5			・普段の活動に加えて、季節に合わせたプログラムも考え、立案している。 ・子どもによっては、活動内容を大きく変えず出来そうな活動を繰り返し、自信につながるようになっている。	
	13	4	1		・利用日（平日、休日など）に応じて、活動内容を変更している。	
	14	5			・集団活動で想定される個別目標を細分化し、個別活動として取り組んでいる。	・定員6名の小集団での活動をおこなっている。今後必要に応じて保護者と連携しながら個別活動を取り入れる。
	15	5			・必要に応じて、担当や役割を決め、連携しながら活動をおこなうようにしている。	
	16	5			・子どもの変化や成長、職員の気づきなどを話し、記録支援ソフトに残して情報を共有している。 ・毎回ではないが、支援の振り返りをおこない、子どもたちの様子の共有をしている。	・支援の振り返りや気づいた点が、より確実に共有できる方法を検討する。
	17	5			・記録支援ソフトで共有を図り、重要な事項については支援後に口頭で共有している。	
18	5					

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
適切な支援の提供	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	1			
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		・機能訓練担当職員（心理士）が会議に参加している。担当者会議対象の子どもに応じて、参加職員の検討調整をおこない、よりその子どもの状況に精通した職員が参加するよう取り組んでいる。	・機能訓練担当職員（心理士）が会議に参加している。担当者会議対象の子どもに応じて、保育士、児童指導員、児童発達管理責任者などが参加できるように調整をおこない、よりその子どもの状況に精通した職員が参加するよう取り組む。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		・朝のミーティングで共有している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・事例なし	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		・同じ法人内の保育所を利用していた児童には、保護者の許可を得て情報を共有している。	・関係のある事業所に対しては、保護者の同意を得た上で、積極的に情報共有を図る。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				・事例なし	・障害福祉サービス事業所等へ移行するケースはいまのところないが、支援内容の情報共有方法（書式、内容など）について検討する。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		・センターへ見学に行き助言を受けている。 ・発達障害者支援センターが取りまとめる研修に参加している。 ・中区こども部会にて、他の児童発達支援事業所とグループワークなどを通じて研修をおこなっている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		2	・公園で遊ぶ際に地域の子どもの交流がある。	・放課後児童クラブや児童館などの活動情報を収集し交流を検討する。
27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5			・中区こども部会にて、他の児童発達支援事業所とグループワークなどをおこなっている。		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
関係機関や保護者との連携	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に事業所内での様子を伝え、家庭での気づきや困りごとなどを聞き取っている。</li> <li>・口頭での説明だけでなく、連絡アプリを活用しながら、子どもの写真とともに、その日の様子を詳しく伝えている。</li> </ul>	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて保育士と子どもの関わりを保護者に見てもらい、保護者が子どもとの関わり方を学ぶ機会を設けている。</li> <li>・希望される保護者へ機能訓練担当職員（心理士）による面談を実施している。</li> </ul>	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学、契約時に児童発達支援管理責任者から説明をおこなっている。また、支援の内容に関しては送迎時に説明をおこなっている。</li> </ul>	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士や心理師など専門職が必要に応じて、助言をおこなっている。</li> <li>・月に2回程度、心理士による面談の枠を設定し、保護者が気軽に相談ができるよう取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な面談以外にも、育児に関する悩みや不安なども聞く機会を設けられるよう日頃のコミュニケーションの中でニーズの把握に努める。</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父母会は実施していない。</li> <li>・検討中ではあるが、保護者会に消極的な保護者もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士で会いたくない方もいるため、保護者の要望を確認しながら、開催の有無について検討する。</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情についての対応体制は、契約時に説明をおこなっている。今後よりわかりやすい説明に努め、周知方法を検討する。苦情があった場合は、対応体制に準じ迅速に適切に対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者からの苦情体制や対応について、職員間での共有を徹底する。</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡アプリを使用し、活動内容と活動の様子を文章と写真で伝えている。</li> </ul>	
	35	個人情報に十分注意しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜同意書をもって対応をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報が入力されている書類はファイリングし、破棄する場合はシュレッダーの使用を徹底する。</li> </ul>
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園に行く際など、地域住民へ積極的に挨拶をおこなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との交流はできていないが、地域への情報発信に努める。</li> </ul>	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			・年間スケジュールを作成し、火災時や災害時の避難訓練や消防訓練、通報訓練をおこなっている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			・外部研修に参加した職員が研修資料を作成、周知し、情報共有をおこなっている。また、行政からの情報も職員間で共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		・身体拘束をしないことを職員間で共有している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			・行事前には保護者へアレルギーの有無を確認している。 ・服薬などの与薬依頼票を確認している。	・保護者にアレルギーの有無を確認する際、医師からの指示も合わせて確認する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・連絡ツールを使用して、ヒヤリハット報告を作成、共有し、ファイルに蓄積している。	